



# TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2642回 例会

プログラム

年次総会

No. 2497 12月3日(木)

次週以降の予定

12月10日(木) 忘年会(夜間)

12月17日(木) 半期を省みて

12月24日(木) 休会

## 第2641回 例会報告

2009年 11月26日(木)

### 会長挨拶・報告



本日は、滝川ロータリークラブ51年の歴史の中で、初めてのガバナーホームクラブ公式訪問です。7月より始まりました公式訪問も本日で73番目、多分共に言えない多くの苦労もあった事と思います。特に本年は渡りガバナーの方針の中に物議を呼びました。「そらぶちキッズキャンプ支援」が御座いましたので、公式訪問の中で理解いただけないクラブとの対話など色々ありになったのですが、随員の地区幹事より完な公式訪問であったとお聞きしております。ガバナーを支援する私共も非常に嬉しいご報告です。

先程、懇談会の中で公式訪問が終わって8割位終わりましたかとお聞きしましたが、まだ6割かなというお答えでした。まだ色々公式行事が残っているそうです。本日は、今日までの感想も含めてお話いただければ幸いです。

### 幹事報告



1. 赤平RCより12月のプログラムが届いております。  
2. 既にFAXでお知らせしておりますが来週12月3日(木)は、第12回理事会と第3回クラブ協議会を開催いたします。役員・理事・委員長さんは出席をお願い致します。尚、午後5時30分より、理事会(3F フレスコ)午後6時30分より、クラブ協議会(2F 孔雀)また、

2月に担当例会をお持ちの各委員長さんは、担当事業実施計画書を12月1日までに事務局へ提出お願い致します。

3. 本日午後6時より3F フレスコにおきまして指名委員会を開催いたします。出席関係者はお忘れにならぬようお願い致します。

## 先週のプログラム

### 《ガバナー公式訪問例会》



渡邊 恭久ガバナー

7月9日から公式訪問に出ました。今日まで5カ月ですが73クラブをカバーしました。今日は、最後の訪問であります。おおよそ3カ月90日公式訪問の為に日程の全てを使いました。中でも函館は、2回行きまして最初は3泊4日後は5泊6日・日高には3泊・小樽には3泊・室蘭には3泊・合計20泊の宿泊をしながら公式訪問を進めました。私とグループ補佐と滝川からは福井さん鈴木英也さん深 和範さん時に中島健さんそれぞれのサポートを頂きながら日高のえりもの先から函館を回って江差・岩内・蘭越を経て留萌は小平・羽幌まで73クラブを回りました。公式訪問は年1回ガバナーが各クラブを訪問し朝9時半に現地に着きます。10時から会長・幹事と懇談を致します。クラブの概要について話をしていただき質問を先に頂戴したりする時間があります。迎え方は様々で、友達が来たように迎えて頂いたり、神様みたいに緊張しながらカバンを持って入るとカバンをすぐ取り上げてご案内していただくクラブとか、様々ありましたけど各クラブ味わいのあるクラブばかりでした。伝統とか習慣とか地域の風土とか十分感じるクラブの香りが何処のクラブも致しました。今まで私は、滝川クラブしか知りませんでしたからこの様に各地を回りますと譲歩というか学習ができた事、大きな宝になりました。9時半から現地に着いて10時から11時まで会長・幹事と懇談をして11時から1時間クラブ協議会を行います。クラブ協議会とは、各委員長さんが出席して何処も緊張しているクラブが多くていつも発言できる方が、もったいあるいは、声を震わしながら、私がガバナーというだけで緊張して参加されておりました。その後食事をして12時半から滝川のクラブと同じように例会が始まります。例会では、RI会長の考え方をきちんと伝えてそれから私が本年度この様な考え

方で皆さんたちとロータリーを楽しもうという話をすることになっていきましたけど、ほとんどはキッズキャンプの話をしていました。キッズキャンプの話をするので、73回しゃべってまいりましたから、私自身も段々そこに想入れが強くなってきました。最初の頃は、キッズキャンプの概要について話をしていたんですが、段々エピソードを入れるようになり最後は地区大会の時のキッズキャンプの話をしていました。その公式訪問が今日、本当に最後です。演台に立ちながら特別な考えが、うごめいておりまして堪らない気持ちです。公式訪問が終わりますけど、この後IMが行なわれます。12グループがありますから12回、これにおおよそ全部出るとも思っています。それから周年事業45周年とか50周年とか10クラブがこの年度に予定されております。これも出てご挨拶をしなければいけない、それから海外の会議も1月7日からタイにWCSの事業の検証ツアーに、4月23日からは、韓国の地区大会に行きます。6月にはモントリオールで行なわれます。国際大会に行きます。それから地区外の地区大会がこれから6地区出席予定です。したがってこれから多分結構忙しい毎日が続く覚悟をしております。大きな地区大会と公式訪問の山は、今日で終わりました。ともあれ地区大会では、96名の会員が本当に…何処に行っても滝川の大会は良かった。どうしてみんなが足並みを揃って良くやってくれるんだと話をされましたし、それから不自由で且つ又設備も十分でない所で、滝川の地区大会は、精々この様な感じだろうとイメージをしていた地区大会が来て見て、本当に驚いて皆さんたち帰りました。その事を私が公式訪問しますと滝川のメンバー凄いなという風に言われました。言われる度に、嬉しさが込められて来て本当にありがたう・ありがたうといひ続けたい感じがします。いつも公式訪問では、1月16日からカルフォルニアのサンディエゴで国際協議会ガバナーの研修が開催されますが、そこに家内と一緒に参加して1週間びっしり研修を致しました。午前中は、本会議で大きなテーマを基に演者が講演いたします。午後は、テーブルを囲んで15人位で徹底的に討論を職業奉仕は何だ、社会奉仕は何だ、ここで私は色々な知識を学びました。私は木曜例会で、戸井先生に親睦とは何だ、あるいはロータリーとは何だ、と言う事を右側に座らないで左側に座って戸井先生と討論をよくいたしました。その雰囲気更にグローバルな中で再現して参りました。夜は様々なパーティーがあり家内は着物、私はタキシードを持っていませんから普通のスーツで出席したに恥ずかしい思いを致しました。がしかし毎日のプログラムを楽しみながら過ごしました。その国際協議会で、ジョン・ケニーというRI会長が私共にロータリーの未来は貴方の手の中にあるというキャッチフレーズを基に7つの重点事項について詳しく訴えていました。私は、ジョン・ケニー氏の考え方を共鳴しながらその考え方を地区で受けて環境・人・子どもにも目を向けようというテーマを掲げました。そして4つの重点項目をあげました。その1つ目が小児ガンであるいは難病で病魔と闘っている子ども達を支えているそらぶちキッズキャンプを支援しようであります。2つ目は、WCSO支援しよう。3つ目には、会員増強しっかりやって頂きたい。4つ目には、職業奉仕の姿勢をしっかりと職業倫理を組みながら職業奉仕をして頂きたいと申し上げました。その小児ガンと闘う子ども達のそらぶちキッズキャンプについて話をします。たぶん地区大会の閉会式の時に滝川クラブの会員のほとんどは、それぞれの部署に就いて閉会式の最後の瞬間を聞いていない方が多いのでは無いかと思ひます。その時の田口良一RI会長代理の話に致します。10月1日に田口良一RI会長代理が千歳に参りました。中島さんから借りた車で千歳に向かいました。田口良一RI会長代理がお会いした瞬間すぐ、真っすぐキッズキャンプの現地に連れて行って欲しくないかという話になりました。私は慌てて佐々木さんに電話をしてこれから2時間後に行くから、とても大事な人なのでキッズキャンプの話をして欲しくないか。着きましたら佐々木さん・中さんあるいは囁きの女性職員が全てが田口会長代理を迎えてくれました。管理棟のテーブルに座って佐々木さんがご案内する前に先にこの話をさせて頂きますと言った話が、これから私がする話です。埼玉県のちいちゃんという女の子がおりました。ちいちゃんは、千歳のちいちゃん、女の子は埼玉県の若い夫婦のもとに生まれました。この子どもが本当に元気に千歳(せんさい)まで生きていただきたいという願いでたぶん千歳という名前をつけたかも

しれません。ちいちゃんと呼んでいたそうです。お父さんお母さんは、7歳の女の子を大事に大事にかけがえのない宝のように育ててきたのだと思います。去年の春に体調が悪く聖路華病院に子どもを連れて行きました。しばらく経ってから細谷先生から連絡が入り、小児ガンと話されました。両親のショックは言葉に表せられない程、辛さだったと想像いたします。それから細谷先生と相談しながら何とか病気が治るようにと願いながら神にも祈るつもりで細谷先生に子どもを預けた訳でございます。細谷先生が、ちいちゃんに来年、北海道の丸加山高原に病気の子どもたちが集まって飛行機に乗ったりあるいは乗馬をしたりするキャンプがあるから先生連れて行って上げるからね。ちいちゃんは、一度も北海道に来た事の無い子どもであったそうグライダーに乗せてくれる、あるいはキャンプの丘の上を走れる、乗馬も出来る話を聞いてどれほど楽しみにしていたか、あるいはどんな風に想像していたか目に浮かぶようであります。お父さんもグライダーの本を買って子どもに与えていたそうです。ところがちいちゃんの病態はどんどん悪くなり夏が過ぎてそして秋になって冬近くなったら更に一層厳しい状態になり2月に彼女は7歳の人生を閉じました。両親は、もう立ち上がれないほど打ちひしがれたそうです。葬式をいたしましたらお参りに来てくれた人たちに香典返しは出来ませんけれどもこの皆様から頂いたこの浄財をちいちゃんが北海道の丸加山のキャンプに行きたいと言っていたので、その為にこのお金を使いたい、どうかお許し下さいと手紙を書いたそうです。2月に亡くなってからずっと両親は、ちいちゃんの仏壇の前で毎日ちいちゃんと会話をしていたそうです。8月の半ばにキッズキャンプの佐々木さんの所に手紙が来ました。ちいちゃんを連れて丸加山に行きます。キャンプに入ります。どうかキャンプのプログラムは終わったかも知れませんが是非同じプログラムを用意して下さい。佐々木さんは、グライダーの搭乗の手続きを取ったりあるいは乗馬の人に頼んで馬を持ってきてもらったり準備をいたしました。両親は、遺影を抱えながらグライダーに乗ってちいちゃんに語りかけていたはずで、グライダーから降りて今度、馬に乗りたてがみを掴みお父さんは遺影と共にしっかり掴んでいたでしょう。そして森の中でロータリーが作った木道を車椅子を使って歩いて見たり、全てちいちゃんにそのプログラムを参加させた事でもあります。次の日の夕方、丸加山の丘に桜の木を1本植えました。そして遺影をその桜の木に向かわせながら持ってきた骨壺から一つまみ遺骨を取り上げてそこに散骨をいたしました。それからまたしばらく両親は、ちいちゃんと話をしていたそうです。ちいちゃんがどれだけキャンプに来てそして自分と同じ年頃の子どもが遊ぶように自分が遊ぶことが出来なかったことを両親と一緒に体験しながら遊んであげた事をしっかりと話をしていたと思います。また来年この丸加山に来ようねと遺骨を持ちながらお帰りになりました。その話を田口良一RI会長代理は、じっと聞いておりました。地区大会の最後の閉会式の点鐘の寸前です。マイクを持って私は、この話を10月1日に聞きました。是非私も支援することを皆さんと共にしたい。100万円寄付いたします。と話を地区大会の閉会のゴングを私が叩いた訳です。全国に居る小児ガンの子供達あるいは難病の子供達あるいは、人の手を借りなければ生きていけない子供達が沢山あります。その子供達が小児ガンの子供達も含めてこのキッズキャンプに来てそして健康な子供達のように走り回りたいそんな風に皆思っているはずで、がしかしそれには当然のようにお金が必要であります。そのお金を我々は、幾分なりともお手伝いをしようというのが支援の呼びかけでありました。各地回りました。終わってから苫小牧北クラブのメンバーが話をしました。高齢の女性会員が私に向かってまだ終わっていないのにハンドバックから1万円札を出して是非これを使ってください。函館のクラブで、会長幹事会の席で今日ガバナー大変失礼な事があるかも知れませんがキッズキャンプについて非常に意見が違う方が居てきつとガバナーに喰い付くかも知れませんが、その場合はどうぞお許し下さいと言われました。私は覚悟をしながらこの話をいたしました。話が終わった直後に、その方が涙を流しながら飛んできました。両手で僕の手をつかんで誤解していました申し訳ない。あるいは、倶知安クラブの会長が、急に立ち上がりまして例会の点鐘を打つ前に私は皆様方に宣言いたします。私は今日この時からタバコを止めます。1週間のタバコ代を例会に募金いたします。このキッズキャンプの話を継起に私は支援をいたします。と言ってくれた時は、とても頬がこげれました。この様な話をしていきますと色々な出会いがあって更に又色々な感動が起きてきたり、あるいは、カーとするような時もありました。でも2800人の会員とこの3ヶ月の間にお会いできてそして一つ一つのクラブのそれぞれのロータリーに対するあるいは自分のクラブに対する想いを聞かせていただき良い機会を頂きました。二度とこの様な機会が有りません私は一昨年の函館の地区大会の時に祝杯を上げる役目をガバナーノミニで担いました。話をした後、物凄い歓声で石黒当時の会長が滝川のメンバーが盛り上がりしました。そして次の大会の時に滝川のメンバーは、全員足並みを揃えてガバナーを支援しながら立派に地区大会をやりますという風にご挨拶をしていただきました。私はご案内の通り金もありませんし有名企業でもありません

ロータリー歴も年数があっても知識は持っていません。地区の委員長もやったこともありませんが私はロータリーの研修をしっかりと受けた機会も非常に少ない、私がガバナーになることは、当然私は馬鹿ではありませんから身の程も知っておりますから受けれないことを何度も話をした訳で御座います。がしかし最後を受けて、受けてしまった後もまだまだ不安でありました。何処に行っても自分の職業は知的職業ではない、ブルーカラーまして社会的な認知の少ない職業であります。それが北海道西部の2800人の頂点に立つガバナー誰が考えてもそれは荷が重過ぎるその役割であります。がしかしどのクラブでもガバナーが出た時に応援するその雰囲気と滝川のその96人があるいは当時の100人が足並み揃えて支えてくれるその雰囲気そして皆さん達が他のクラブやパストガバナーが渡さん幸せだねと言ってくれたその言葉が私には凄いい力・エネルギーであります。何処に行っても臆することも無くあるいは遠慮することも無く自信有り気にも臆訪問を73クラブ回って参りました。これは滝川クラブのメンバー皆が色々不満やあるいは不愉快やあるいは批判も沢山お持ちになっていたにもかかわらず、それをずっと押さえていただいて私に皆が役目を支えてくれるという実感を与えてくれた事が、しっかりと役目を果たせたこととあります。改めて96人の会員に心からありがとう御座いますとお礼を申し上げます。ありがとうございます。



ガバナー補佐 北谷 好夫

この度は、川口会長のご厚意により私にもお時間をいただきありがとうございます。せっかくの機会がありますので、想いついたままを述べたいと思います。まず、親愛なる私の渡 ガバナーの事であります。地区内73クラブの公式訪問日本日を持って、無事されますことおめでとうございます。といいますが、お疲れ様でしたといったほうがよるでしょうか、いづれに致しまして心よりお喜び申し上げます。渡 ガバナーは、第2510地区の地区目標に「環境・人・子どもに目を向けよう」をたてました。そして、その中でも「そらぶちキッズキャンプを支援しよう」を重点目標として、一貫してそらぶちキッズキャンプへの理解と協力を地区内の会員はもとより地区外の会員にも情熱的に訴えてこられました。そして徐々に理解を得られ、賛同の輪が広がって大きなうねりとなって、今後の各クラブの活動が期待されることです。更には、他の地区にも広がって、どの様に波及していくのか、今後が楽しみです。更には、第2グループで初めて輩出した渡 ガバナーの地元、滝川市で開催された滝川クラブ主管の第2510地区、地区大会が川口会長をはじめ役員の皆様、篠島実行委員長はじめ実行委員会の皆様、神部代表幹事はじめ幹事の皆様そして滝川クラブ会員総勢96名の周到な準備と行動力が一体となり、素晴らしいハーモニーとなって見事に成功されたことは、みんなが等しく認めるところであり、私と致しましても記念に残る出来事でもあります。ガバナー・会長・実行委員長・代表幹事・そしてクラブ全員の皆様に拍手を送りたいと存じます。これから、また半期以上ございますが、皆様方のご健勝とご活躍を祈念しまして、ご挨拶と致します。

## ニコニコBOX

渡邊 恭久会員  
公式訪問を終えて。

神部 洋史会員

ガバナー公式訪問を全て終えられた渡邊ガバナーに敬意を表して、ご苦労様でした。

鈴木 英也会員

本日で、無事ガバナー公式訪問担当を終えて、有り難うございます。

竹田 行宏会員

公式訪問例会を終えて。

会長/川口 義弘  
幹事/竹田 行宏  
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM 0:30  
例会場●ホテルスエヒロ  
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16  
TEL (0125) 22-3344  
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。